議発第14号

意見書議案の提出について

平成24年９月高知県議会定例会に「米軍機「オスプレイ」の国内配備・運用の撤回を求める意見書」議案を別紙のとおり提出します。

平成24年10月９日

高知県議会議長　武　石　利　彦　　様

提出者　高知県議会議員　　塚　地　佐　智

同　　岡　本　和　也

同　　中　根　佐　知

同　　吉　良　富　彦

同　　米　田　　稔

米軍機「オスプレイ」の国内配備・運用の撤回を求める意見書

政府は、「安全宣言」なるものを発表し、米軍は、岩国基地に陸揚げしたオスプレイ12機の試験飛行を行い、沖縄普天間基地に配備・運用しようとしている。これは配備反対と基地撤去、いっそう危険な低空飛行訓練に反対する沖縄県民、全国各地の自治体・住民の願いを踏みにじる暴挙であり、断じて認めることはできない。

４月モロッコ、６月フロリダ２つの墜落事故についての米軍の報告も、政府の「安全宣言」も人為的ミスとしているものの、浮き彫りになったことはわずかな追い風や先行機からの乱気流の影響で操縦不能になり墜落すること、ちょっとした操縦ミスでも重大事故を起こす危険な飛行機であるということである。また、オスプレイはプロペラが止まったとき自動的に体勢を立て直すオートローテーション機能がないなど構造的な欠陥も明らかである。そして日米合同委員会でまとめた運用ルールも、これまでも守られたことはなく住民の不安を払拭し安全を保証するどころか、安全とは程遠いものである。

沖縄県では、9月9日、本土復帰後最大規模10万1千人の県民大会が開かれ、オスプレイの配備計画撤回、米軍普天間基地の閉鎖・撤去を求めている。また世論調査でも7割の国民が配備反対を表明し、自治体、住民ぐるみの運動が強まっている。高知県においても、防災ヘリやドクターヘリの活動への危険と不安も強まる中で、嶺北４町村長がオスプレイの配備と低空飛行訓練中止を政府とアメリカに要請したことを初め、市町村議会での意見書決議の採択や県民運動が広がっている。

アメリカでは、住民の声が反映されオスプレイの訓練の先送りや撤回が続いている。

いま、主権国家として在日米軍の特権を許さず、国民、県民の命と安全を守ることこそ求められている。

よって、国におかれては、アメリカに対してオスプレイの国内配備・運用を撤回するよう求めることを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

高知県議会議長　武　石　利　彦

内閣総理大臣
外　務　大　臣　} 様
防　衛　大　臣

議発第16号

決議議案の提出について

平成24年９月高知県議会定例会に「安全確保策の合意を無視したオスプレイの本県通過に抗議し、安全確保を求める決議」議案を別紙のとおり提出します。

平成24年10月９日

高知県議会議長　武　石　利　彦　　様

提出者　高知県議会議員　　塚　地　佐　智

同　　岡　本　和　也

同　　中　根　佐　知

同　　吉　良　富　彦

同　　米　田　　稔

安全確保策の合意を無視したオスプレイの本県通過に抗議し、
安全確保を求める決議

10月6日、沖縄県にオスプレイが配備され、運用が開始された。多くの国民の安全に対する懸念の声に対し、日米合同委員会で「学校や病院を含む人口密集地上空を避ける」「ヘリモードは基地内に限定」「移動の際は可能な限り水上を飛行する」などの安全確保策を合意していた。

しかし、沖縄県では、学校、保育園、病院の上空を飛行し、基地の数キロ手前でヘリモードに転換するなどの事態が確認され、1日、6日には岩国基地から普天間基地の移動に当たり、海上ではなく、わざわざ遠回りして、本県四万十市上空を通過した。合意が初日から反故にされる事態が繰り返されていることは到底許されない。

そもそも安全性や低空飛行訓練の被害増加が懸念されるオスプレイの配備については、沖縄県では県議会を含む全42自治体、本県でも高知市、嶺北4町村など8自治体議会が意見書を可決し、9月27日に開催された四国4県57町村長・議長大会では、オスプレイの低空飛行訓練の中止を国に求める緊急決議がなされている。

9月24日、オスプレイの沖縄配備に関する中国四国防衛局の本県への説明の場でも、安全性への懸念は払拭されず、県知事名で「オスプレイを含む低空飛行訓練の中止」を強く要請し、要請文を手渡している。

安全確保策の合意が最初から無視される事態は、米軍や日本政府の安全性についても説明も信頼に値するものでないことを示したものと言わざるを得ない。

7月の全国知事会の緊急決議が指摘した「関係する自治体や住民が懸念している安全性についていまだ確認できていない現状においては、受け入れることはできない」状況はさらに強まっている。また、8月7日四国4県議会正副議長会の決議が強く求めた「関係自治体に詳細に説明するとともに、国民の生命・安全の確保に全力を尽くす」こともなされておらず、配備、運用できる条件にないことは明らかである。

安全確保の合意を無視したオスプレイの本県上空通過を厳しく抗議するとともに、少なくとも、関係自治体、住民の懸念が払拭されるまでその運用を中止すること、あわせて本県での米軍機の低空飛行訓練の中止を強く求めるものである。

以上、決議する。

高知県議会